

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりになき緊張感



2024(令和6)年8月15日/第92号

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

風早北部地域ふるさと協議会

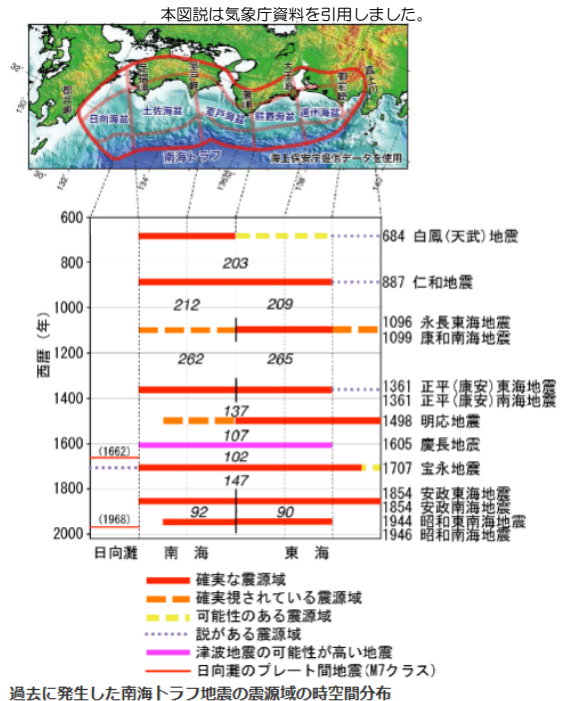
「巨大地震注意」が発せられました

本制度発足後では初めて。これから私たちはどうする？

去る8月8日に宮崎県日向灘沖の海底を震源とする最大震度6弱の地震が発生、政府は直ちに南海トラフ地震にも関わる「巨大地震注意情報」(裏面図説を参照)を発信しました。これにより、大きな地震発生の危険性が平時より高まったとして、日本政府は国民に対し大規模地震への備えの必要性を改めて呼びかける趣旨で「巨大地震注意」が同日付で発せられました。

この注意報をもって、私たちに近々に大規模地震が襲ってくることは必ずしも繋がりませんが、一方で、翌9日夜にも神奈川県西部を震源とする最大震度5弱の揺れが首都圏の一部を襲っており、大きな地震が従来に増して頻度高くなっている時代を迎えていることは、多くの地震専門家が指摘しています。

自然災害、特に地震に対しては、「**備えあれば、憂いなし**」が**基本**であることを改めて感じ、是非以下のような行動を各家庭で検討、実施しましょう。



①発災時の安否確認方法(離れ離れの際の相互連絡手段)は大丈夫ですか？

大規模地震直後は通信回線が制限されたりマヒ状態になり、携帯電話やメール(おそらくSNSも)が長時間繋がりにくく(繋がらなく)なります。これ以外の手段で自分が大丈夫であることを家族に知らせる手段(災害伝言ダイヤルの使用、公衆電話の使用など)を考え、普段に訓練しておきましょう

②在宅避難以外の避難場所は検討されていますか？

仮に、自宅に居留まれない(自宅が損壊した、損壊する恐れが高まった)場合の避難場所を家族で話し合っていますか？

③備蓄品・非常時持出品の準備はできていますか？

災害規模が大きいほど、避難先で飲料水や食糧にありつける保証はありません。これらは最低3日分(出来れば2週間程度分)を各世帯で確保しまし

よう。処方薬、歩行杖、メガネ、補聴器、乳児製品など日常の生活に欠かせない品物で、災害直後はなかなか新しいものが入手できなくなることを想定し、無くさない・切らさない、壊さないよう心掛けできますか？

南海トラフ地震臨時情報 「注意」発表時にとるべき行動

南海トラフ地震臨時情報		巨大地震警戒	巨大地震注意	調査終了
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">最短 2時間 程度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1週間</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2週間</div>	<p>日頃から地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</p> <p>地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難</p> <p style="text-align: center;">要配慮者を考慮し、事前避難を実施</p> 	<p>日頃から地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</p> <p>つねに家族の所在場所を把握</p>  <p>非常用袋やヘルメットを玄関に</p>  <p>寝る時は枕元にはきなれた靴を置いておく</p> 	<p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p>  <p style="text-align: center;">通学 通勤</p>	
	<p>日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</p> <p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p>	<p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p> <p style="text-align: center;">通勤 通学</p> 	<p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p> <p style="text-align: center;">散歩</p> 	
	<p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p>	<p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p>	<p>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</p>	

※通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過したときまで 日本気象協会 tenki.jp
内閣府防災情報ページより編集して作成

キーワード

調査中	<ul style="list-style-type: none"> ■観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> ■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> ■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合 ■想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ■ひずみ計等で優位な変化として捉えられる、短い期間にプレート協会の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
調査終了	<ul style="list-style-type: none"> ■巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

内閣府防災情報ページより編集して作成 日本気象協会 tenki.jp

こちらの図説は日本気象協会の資料から引用しています。